

## CHAPTER 2: 制御関数

## 2.1 CHFILEMT

(1) 機能

出力ファイル番号を変更する

(2) 呼び出し形式

CALL CHFILEMT(MT)

MT: [INTEGER\*4] 変更する出力ファイル番号

(3) その他

- ・ 新たな出力ファイルをオープンしておく必要がある  
新たな出力ファイルは NEWFILE で設定する
- ・ 線種等の設定は変更前のままである

## 2.2 DIMTAB

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する

(2) 呼び出し形式

CALL DIMTAB

(3) その他

- ・ 入力ファイル番号99に出力ファイル番号および用紙サイズ: A3,A3V,A4,A4Vを指定しておく必要がある (例: echo '60 A4V' > fort.99)

## 2.3 DIMTAB2

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する (任意の縮尺・位置設定が可能)

(2) 呼び出し形式

CALL DIMTAB2(SCLX,SCLY,TRSX,TRSY,C,MT)

SCLX,SCLY : [REAL\*4] X,Y軸方向の倍率

=<0.0の場合、標準値2.846を自動設定する

TRSX,TRSY : [REAL\*4] X,Y軸方向の位置移動

C : [CHARACTER] 'A3','A3V','A4','A4V'を指定する

MT : [INTEGER\*4] P S ファイルの出力先ファイル番号を指定する

=0の場合、入力ファイル番号99から入力する

(3) その他

- ・ MT=0の場合、  
入力ファイル番号99に出力ファイル番号および用紙サイズ: A3,A3V,A4,A4Vを  
指定しておく必要がある (例 : echo '60 A4V' > fort.99)

## 2.4 ENDOFPS

(1) 機能

P S ファイル終了を宣言する (GPSL準拠)

(2) 呼び出し形式

CALL ENDOFPS

(3) その他

- ・ CALL PLOT(0.0,0.0,999)と等価である

## 2.5 NEWFILE

(1) 機能

新たな出力ファイルをオープンする

(2) 呼び出し形式

CALL NEWFILE(MT)

MT: [INTEGER\*4] 新たに出力するファイル番号を指定

(3) その他

- ・ 線種等の設定はオープン前の別のファイルの設定のままである
- ・ 1つのプログラムで同時に開ける出力ファイルの数は100個である

## 2.6 SHOWPAGE

(1) 機能

ページ替えを行う

(2) 呼び出し形式

CALL SHOWPAGE

(3) その他

- ・ CALL PLOT(0.0,0.0,5)と等価である

## 2.7 SPSA3

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する (A3横用紙を指定)

(2) 呼び出し形式

CALL SPSA3(MT)

MT : [INTEGER\*4] P S ファイルの出力先ファイル番号を指定する

(3) その他

- ・ CALL DIMTAB2(0.0,0.0,0.0,0.0,'A3',MT)と等価である

## 2.8 SPSA3V

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する (A3縦用紙を指定)

(2) 呼び出し形式

CALL SPSA3V(MT)

MT : [INTEGER\*4] P S ファイルの出力先ファイル番号を指定する

(3) その他

- ・ CALL DIMTAB2(0.0,0.0,0.0,0.0,'A3V',MT)と等価である

## 2.9 SPSA4

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する (A4横用紙を指定)

(2) 呼び出し形式

CALL SPSA4(MT)

MT : [INTEGER\*4] P S ファイルの出力先ファイル番号を指定する

(3) その他

- ・ CALL DIMTAB2(0.0,0.0,0.0,0.0,'A4',MT)と等価である

## 2.10 SPSA4V

(1) 機能

P S ファイル作成を宣言する (A4縦用紙を指定)

(2) 呼び出し形式

CALL SPSA4V(MT)

MT : [INTEGER\*4] P S ファイルの出力先ファイル番号を指定する

(3) その他

・ CALL DIMTAB2(0.0,0.0,0.0,0.0,0.0,'A4V',MT)と等価である